

秋田市教育委員会  
会 議 録

令和6年4月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和6年4月定例会会議録

- 1 日 時 令和6年4月4日（木曜日）  
午後3時30分～午後4時30分
- 2 場 所 5－A会議室
- 3 出席委員 教育長  
教育委員  
教育委員  
教育委員  
教育委員
- 4 出席職員 教育次長  
副理事兼総務課長  
副理事兼生涯学習室長  
総務課参事  
学事課長  
学校教育課長  
教職員室長  
教育研究所長  
学校適正配置推進室長  
中央図書館明德館事務長  
中央図書館明德館参事  
中央図書館明德館参事  
秋田商業高等学校長  
秋田商業高等学校事務長  
御所野学院高等学校長  
御所野学院高等学校事務長  
総務課長補佐  
総務課副参事  
学校適正配置推進室副参事  
学事課主席主査

総務課主査

総務課主査

## 5 議 題

### 【付議案件】

議案第6号 令和6年度秋田市の教育について

議案第7号 職員の人事について承認を求める件

### 【教育長等の報告】

(1) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

## 6 議 事 午後3時30分開会

### 【委員および職員紹介】

委員から委員再任の挨拶がなされた。また、令和6年4月1日付けの人事異動後の課長職以上の職員紹介が行われた。

### 【教育長職務代理者の指名】

教育長 教育長職務代理者については、令和5年4月1日から委員を指名している。その任期については、特に定めがなく、制度上は次の代理者を指名するまでの期間となっている。

私としては、代理者の任期は、おおむね年度ごとにしたいたいと考えているため、今年度については、委員を教育長職務代理者に指名したいと思う。委員、どうかよろしく願います。

### 【令和6年3月臨時会および3月定例会会議録の承認】

令和6年3月臨時会および3月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第6号 令和6年度秋田市の教育について

教育長 議案第6号「令和6年度秋田市の教育について」、事務局から説明願う。

副理事兼総務課長 (資料に基づき説明)

委員 休日の中学校部活動の地域移行についての状況はどうか。

学校教育課長 移行可能な種目から段階的に進めている。今後、中体連の専門部の方々と協議し、できるところから積極的に進めていきたいと考えている。

委員 先日、仁賀保高校で女性部員が1人しかいないため、7校で合同練習を行うと距離的な問題や金銭的負担も生じるというニュースを見た。スムーズに地域移行するためには、準備や場所も検討していかなければいけないと思う。

学校教育課長 今年度から総括コーディネーターを配置し、担当者と話し合いを始めている。我々としても先を見通しながら、検討を進めていきたいと考えている。

委員 保護者や地域の方々の心配もあるので、丁寧に説明しながら、スムーズに進めてもらいたい。

委員 電子書籍の貸出が始まったところであるが、利用状況や市民の方からの評判はどうか。

中央図書館明德館参事 電話での問合せも多く、好感触だと考えている。貸出の延べ件数は、3,336点であり、今後もさらに伸びていくことを期待している。また、30代から60代までの利用が全体の8割を占めており、男女別で見ると女性が7割を超えているという状況である。

委員 家にいながら申請できるというのは、とても便利だと思う。予算を増やしていくということは、書籍数を増やしていくということで良いか。

中央図書館明德館参事 新年度の図書整備経費の1割程度を電子書籍の購入に充てていきたいと考えている。

- 委員 スクールロイヤーを配置するという事で、大変心強く思う。秋田市教育委員会から委嘱される弁護士の氏名は、公表されるのか。また、学校にスクールロイヤーが配置されることについての周知は、どのような状況か。
- 学校教育課長 委嘱する弁護士からは、内諾をいただいている。  
学校に対しては、昨年度の校長会において、事業を行う旨の説明は行ったが、運用やその他の詳しい内容については、今後の校長会で詳しい説明を行う予定である。
- 委員 秋田県内で、秋田市が初めてスクールロイヤーを配置したということで、他の自治体も非常に関心を持っていると思う。うまく機能するように運用していただきたい。  
次に、他の自治体でタブレットが大量に壊れ、教育長の責任問題に発展したという報道を耳にした。本市では、どの程度、故障の報告があるのか。また、壊れた際の代替機の提供状況や修理費は、どのようになっているのか。
- 学事課長 保守経費の中で整備や修理を行っている。
- 学事課主席主査 令和4年度および5年度は、それぞれ50台前後の故障した機器を修理し、各校に復帰させている。2万台のうちの50台のため、割合としては、かなり低いと捉えている。修理費用は、本市で負担し、保護者の方々には求めている。
- 委員 割合としては、非常に低い値なので、機器の選定が非常に良かったのかと思う。修理についてもスムーズに行っていると伺い、安心した。
- 教育長 修理が必要になった際には、ストックしている予備を提供し、すぐに子どもが使える状況にしているということで良いか。
- 学事課主席主査 本市においては、年間100人程度児童数が減っているため、余剰が発生しており、その余剰分を故障した場合の代替機としている。
- 委員 本市では、様々な面でICTを活用していると思う。教育

研究所による先生たちへの研修も、先生たちに負担が掛からないように実施しなければならないと思うが、今年度はどのような形で実施していくのか。

教育研究所長

今年度の教育研究所の研修の重点が3つあり、そのうちの1つにICTを活用した教育の推進を据えている。令和3年度から課題研究推進校を小学校、中学校に1校ずつ委嘱しているが、今年度は小学校2校、中学校1校に拡大する。

また、希望研修であるICT活用研修会を基本、プログラミング、応用で実施する。先生方のスキルも高くなってきているので、柔軟な対応ができるようにしたいと考えている。

委員

ICTが学校教育において拡充している中で、生涯学習において、新しい生活様式やライフステージに応じたオンライン講座等を25講座開かれるといった内容がある。一般の市民の方々にもこのような新しい生活様式やICTの活用の幅が広がってきていると感じている。講座の中で特徴的な講座はどのようなものがあるのか。

副理事兼生涯学習室長

ICTを活用した講座としては、青少年教室におけるスマートフォンなどの操作講習のほか、各市民サービスセンターの地域学習においてICTを活用した講座を進めたいと考えている。しかし、担当によるスキルの違いなどもあることから、まずは、生涯学習室主導でオンライン配信に関する講座を市民サービスセンターの職員に行っていく。その後、Xなどを活用した講座の周知や開催時の様子の配信などを通して、慣れてもらうということを考えている。

委員

自然科学学習館でのドローンは、どのように展示を行うのか。

副理事兼生涯学習室長

縦横3m、高さ4mのネットを張ったケージの中でドローンを飛ばす展示を予定している。ドローン同士がぶつかっても機体が壊れないように、球型のガードがついているドローンを6基用意している。

教育長

広い場所ではないが、子どもたちがドローンを操作する体

験ができるということに魅力があると思う。

次に、スクールバスについてだが、学校の適正配置で統廃合が進み、公共交通機関だけでは難しい面もあるため、スクールバスを確保していかなければならないと思う。

今年度末や来年度末にも学校の統合が控えているが、どのような見込みか。

学校適正配置推進室長 スクールバスについては、これまで市直営のほか、車両を借り上げて、運行業務を委託するなどにより運行してきたが、最近では、運行業務を委託するケースの方が多い。

また、マイタウンバスの活用など、その地区に応じた運行方法も検討したいと考えている。

教育長 しっかりとした交通手段を確保できることは、非常に大事だと思うので、今後もよろしくお願ひしたい。

※ 議案第6号については、全員賛成により、議決された。

議案第7号 職員の人事について承認を求める件

教育長 議案第7号「職員の人事について承認を求める件」について、事務局から説明願う。

副理事兼総務課長 (資料に基づき説明)

※ 議案第7号については、全員賛成により、議決された。

### 【教育長等の報告】

(1) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(1)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

教育長 飯島小と下新城小の統合検討委員会だが、確認事項の中で保護者への説明会を開催するとあるが、下新城小の保護者向

けということで良いか。

学校適正配置推進室長 下新城小の保護者に対して、4月25日に説明を行う。

委員 下新城小が、令和7年度に創立150周年を迎える。そこを節目としたいということだが、その場合の児童数は、どの程度減っているのか。

学校適正配置推進室副参事 2年後の児童数に大きな変化はない。ただし、全学年において単級となるため、改善策を考えていきたいと考えている。

教育長 2年後の児童数は理解したが、その時点の未就学児の状況はどうか。

学校適正配置推進室副参事 下新城小については、未就学児がだいたい90人程度となっている。直近の1歳児が7名程度になっており、ここ1～2年の子どもの数の減り具合が大きく、今後は、もっと児童数が減っていくと思われる。

教育長 下新城小に限ったことではなく、先日行った黄色い帽子の贈呈式では、附属小学校の入学者分も含めて2,000人を切るという状況だった。令和4年度の出生数が1,500人程度だったと記憶しているが、そのような状況を考えると、今後についても大変危惧されるところだ。今年も様々な地域で検討委員会が進むようなので、よろしく願います。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

#### 【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 今後の日程についてお知らせする。5月定例会については、5月23日木曜日午後3時30分から開催する予定である。

教育長 5月定例会は、5月23日木曜日午後3時30分から開催予定とのことである。委員の皆様、よろしく願います。

午後4時30分閉会